

富士山を学び、守る

# 富士山憲章

## ニュースレター

2007.

1

No.78

発行

富士山ボランティアセンター

### 今月の話題

### Contents

#### 富士山憲章ニュース

- 富士山と共に  
～画家 櫻井孝美さん～
- 青木ヶ原樹海等エコツアー  
ガイドライン推進協議会
- 富士北麓市町村等の  
富士山関連事業～鳴沢村～
- 山小屋の取り組み  
吉田口環境保全推進協議会
- 富士山美化清掃活動（12月）

#### 富士山レンジャー レポート

- 富士山レンジャーによる  
環境教育活動
- こんなものみつけたよ  
（冬芽と葉痕）

#### お知らせ

##### ○富士山関連イベント

あけましておめでとうございます

富士山ボランティアセンターでは、今年も富士山の環境保全のために様々な活動を展開していきますので、よろしく願いいたします。

今後の主な活動予定

2月：「富士さんへ謹賀新年」

入選作品展示（～5月）

3月：富士山フォーラム開催

その他、環境学習支援プログラムやホームページでの情報発信など行っていきます。



作品「私の富士」の前で語る櫻井さん

#### 富士山と共に～画家 櫻井孝美さん～

「僕の絵の中にメッセージはない。富士山そのものがメッセージ。」富士山を描く画家、櫻井孝美さんは、「富士山からどんな風に表現してもいいよ。と言われていたような気がする。自然の与えてくれた造形美、美の極を、あるがままの姿でキャンバスに描く。表現者として、富士山の麓に住み、常に富士山を感じられることができ、とても恵まれた。」と語っています。

冬の空気が澄みわたったときに、生まれ故郷の埼玉県から、遥かに臨んだ富士山が初対面。富士吉田市に移り住んだ現在、奥様と吉田口登山道の馬返しから一足一足登り、自然に触れ合うことで、作品へのインスピレーションを感じているとのこと。お気に入りには、七合目付近の朝日に染められた山肌。櫻井さんの作品は、麓から歩いて登り、富士山に実際に触れて、抱く畏敬の念に支えられています。

富士山を美しいまま未来に引き継ぐ気持ちも人一倍。「世界文化遺産になれば、日本の誇りになる。今後は、子供たちに富士山を知ってもらい、意識してもらうことが重要。小さな頃から富士山を描く機会を持つことも一つのきっかけ。そんなお手伝いができたら。」と、屈託のない笑顔で語る姿が印象的でした。

#### プロフィール きくらいたかよし 櫻井孝美氏（1944年埼玉県生まれ、富士吉田市在住）

日本大学芸術学部美術学科卒業後、山梨県庁に勤務するかたわら、安井賞、昭和会賞などの数々の賞を受賞。その後、創作活動に専念し、個展の開催や世界各地の取材旅行など、精力的に活動を続ける。現在、千葉県の上野の森大学日本文化芸術学部教授として、千葉県と山梨県を往復する多忙な日々を送っている。

